

地理の見方・考え方ガイド

地理の学習では、地理の「見方・考え方」を働かせながら、地域の特徴や課題を探究することが大切です。「見方・考え方パネル」の「視点カード」を使って、地理の「見方・考え方」を働かせた探究学習に取り組んでみましょう。

いろいろな「視点」を使うことで、考える力がきたえられるよ。



「視点」を使って考えてみよう—多面的・多角的な見方・考え方のトレーニング!

① 次の問いについて考えてみよう。



② 「視点カード」を用いていろいろな「視点」から考えてみよう。



アメリカの農業地域の分布にどのような特徴があるのか見てみよう。



他の場所とどのような関係をもっているかみてみよう。



アメリカと日本の農業の違いを調べてみよう。



自然との関わり の視点から考えると…

・農業に適した広い土地がある。降水量や気温、土壌の質などが違うため、それぞれの環境に適した農作物を栽培している。



アメリカと日本で比べてみると…

	耕地面積	100haあたり農業従事者数
アメリカ	15,774万ha	1.4人
日本	414万ha	55人

地域の傾向 の視点から考えると…

・アメリカの耕地面積は日本の約40倍にもなる。また、100haあたり農業従事者数が日本と比べて少ない。
・大型機械を導入し、少ない労働力で広い面積の農地を経営している。



とうもろこしの輸出

世界計1億8,375万t

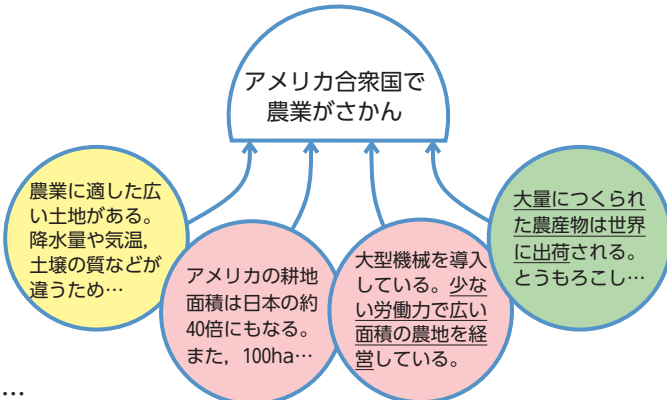
	ブラジル	アメリカ合衆国	アルゼンチン	その他
	23.3%	22.6	19.6	

結びつきの視点から考えると…

・大量につくられた農産物は世界に出荷される。とうもろこし、綿花、肉類の世界有数の輸出国である。

「思考ツール」を使ってまとめてみよう

その他の「思考ツール」の活用例はこちら→



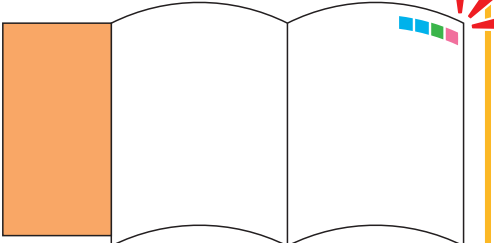
まとめると…

アメリカ合衆国では、自然環境に合わせた農業を行っている。大型機械やトラックを導入することで、少ない労働力で広い農地を経営している。さらに、生産した農産物は国内で消費するのではなく、外国に輸出している。

裏面の「思考ツール活用シート」を使ってまとめることもできます!



資料集の内容に沿った「視点」の例を、各ページのタイトル近くに表示しています!



地理の見方 (★ 視点)



どこにあるか
どのように広がっているか



どのようなところか



他の場所とどのような関係をもっているか



どのような特徴があるか、ほかの地域とどのように違うか



自然環境からどのような影響を受けているか、自然環境にどのような影響を与えているか

考え方 (★ 思考スキル)



共通しているところ、違っているところをみつける

▶ ○○と比べて、△△は～だ。



理由、原因を考える

▶ ～という理由から、○○が△△であることがわかる。



結果を予想する

▶ もし○○なら、△△だから□□だろう。



情報をまとまりに分けたり、関連を示したりして整理する

▶ 根拠(事実)→わかること→主張



仲間分けする

▶ ○○と△△は□□という共通点(相違点)がある。



さまざまな視点で考える

▶ ○○だった△△が、□□でみると☆☆になった。

見方・考え方パネル

★ 視点

地理の学習における見方

- 位置・分布
- 場所
- 地域の傾向
- 結びつき
- 自然との関わり

★ 思考スキル

地理の学習で役に立つ考え方

- 比較する
- 構造化する
- 理由づける
- 分類する
- 推論する
- 多面的に見る

★ 思考ツール

考える際に役に立つ思考方法

- ベン図
- キャンディチャート
- ピラミッドチャート
- クラゲチャート
- バタフライチャート
- くま手チャート

★ SDGs

国連が示した解決すべき目標

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

SDGsについては、本誌1 p.2 を見てみよう。

※「視点」「思考スキル」「思考ツール」は、主なものを掲載しています。

★ 思考ツール 活用シート記入例

思考ツールを使って、自分の考えを整理し、文章にまとめてみよう。

クラゲチャート

とうほう「思考ツール活用シート」クラゲチャート

アメリカ合衆国で農業がさかんなのはなぜだろう? 年組 番氏名

- にテーマを書き込もう。
- 自分の考えを思考スキルを使ってまとめてみよう。
- 下の記述らんに文章でまとめよう。

クラゲチャートの中心には「アメリカ合衆国で農業がさかん」とあり、その周囲には以下の要素が配置されています:

- 農業地域の分布** (資料: 83ページ): 農業に適した広い土地がある。降水量や気温、土壌の質などが違うため、それぞれの環境に適した農作物を栽培している。
- 農業従事者数** (資料: 80ページ 4): アメリカの耕地面積は日本の約40倍にもなる。また、100haあたり農業従事者数が日本と比べて少ない。
- 収穫方法** (資料: 82ページ): 大型機械を導入し、少ない労働力で広い面積の農地を経営している。
- 農産物の輸出国** (資料: 87ページ): 大量につくられた農産物は世界に出荷される。とうもろこし、綿花、肉類の世界有数の輸出国である。

100字でまとめよう→ アメリカ合衆国では、自然環境に合わせた農業を行っている。大型機械やトラックを導入することで、少ない労働力で広い農地を経営している。さらに、生産した農産物は国内で消費するのではなく、外国に輸出している。

関連するアイコン

- 地域の傾向
- 結びつき
- 自然との関わり
- 理由づける
- クラゲチャート

バタフライチャート

とうほう「思考ツール活用シート」バタフライチャート

再生可能エネルギーを使った新しい発電の利点と課題 年組 番氏名

- にテーマを書き込もう。
- 自分の考えを思考スキルを使ってまとめてみよう。
- 下の記述欄に文章でまとめよう。

バタフライチャートの中心には「再生可能エネルギーを使った新しい発電」とあり、その周囲には以下の要素が配置されています:

- 利点** (資料: 82ページ): 放射性廃棄物が出ない発電のしかたである。温室効果ガスの排出をおさえることができる。
- 課題** (資料: 82ページ): 発電する場所を探したり開発するまで時間がかかる。発電コストが割高。

再生可能エネルギーを使った発電は、温室効果ガスの排出量が少なく放射性廃棄物も排出されないため、環境にやさしい発電方法である。しかし、発電コストが高いことや開発に時間がかかる点が課題である。

関連するアイコン

- 自然との関わり
- 多面的に見る
- バタフライチャート
- エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 気候変動に具体的な対策を